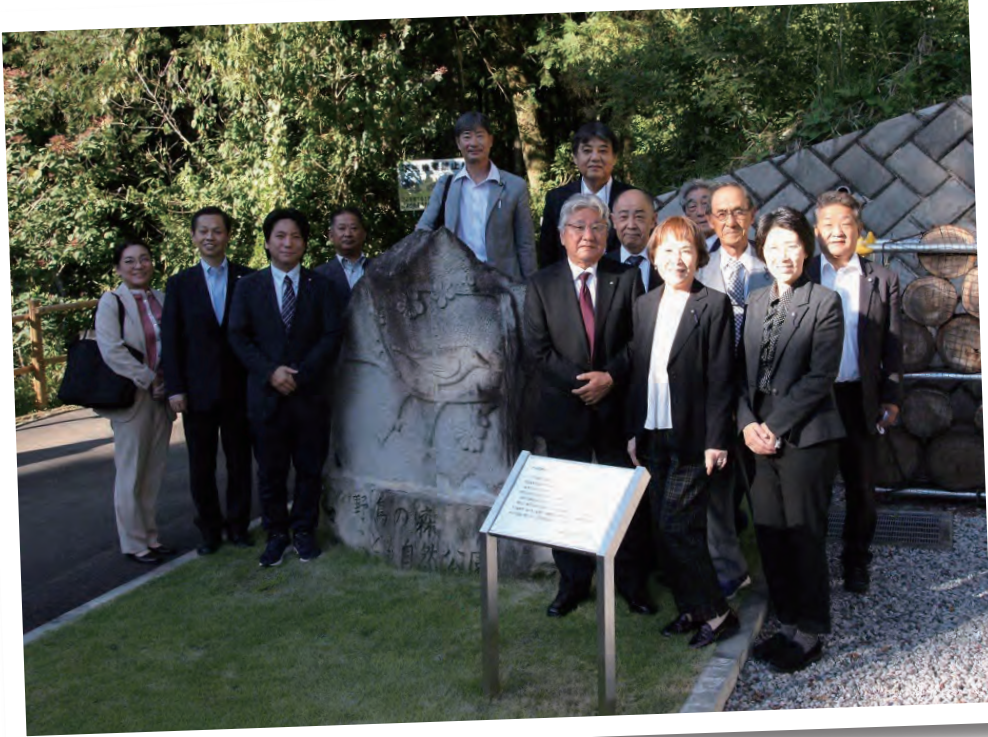


令和5年度 新島村議会議員視察レポート

吉見 一之



▲日の出町野鳥の森自然公園にて。新島村からコーガ石のモニュメントが友好町村の証として寄贈されている。日の出町議会・東亨議長、繩井喜代子副議長と

コロナ過の影響により数年ぶりとなる新島村議会議員視察を、令和5年10月16日から18日の3日間の日程で実施しました。

10月18日に都内で開催された全国漁港漁場大会に新島村議会として出席すること、コロナ禍で見送られてきた友好町村「東京都日の出町」へ交流訪問をするのが目的です。

経費節約のため、一度の上京で全てを済ませる上、全行程を公共交通手段で移動するという、かなりハードなスケジュールでした。

しかも世の中そううまくはいきません！本来は15日に上京予定でしたが、天気予報が悪かった

ため急遽14日に上京することになりました。総勢10名以上の一団が船や飛行機、宿泊先の確保にてんやわんやとなったことは言うまでもありません。

しかし1日早く上京したおかげで、14・15日に日の出町で開催された新島村からも出店していた「日の出町産業祭」等に参加する機会が得られたことは不幸中の幸いでした。

詳しい内容は個別にレポートがありますので、ここでは割愛させていただきます。なにはともあれ無事遂行できたことをご報告いたします。

【視察の日程】

15日.. 各人活動
日の出町産業祭
江東区民祭他

16日.. 日の出町
歓迎セレモニー
意見交換会後
日の出町施設視察

17日.. 都庁
DX化に向けての
意見交換会

18日.. 東京国際フォーラム
全国漁港漁場大会

※その他、隙間時間を活用して
各自議員活動を行いました。

日の出町視察報告記

綾 とおる

10月16日に実施した、東京都日の出町への行政視察について報告します。

「全国」の福祉のまちを目指し

(子育て福祉課、いきいき健康課の資料による)

平成3年(1991年)、当時の村長の決断で、国に先駆け独自の福祉施策を取り組む「日の出福祉村構想」を発表。障がい者施設や、老人ホームをはじめ福祉施設の誘致を開始。温泉源の採掘・温泉センター開設をはじめ、「生涯青春」「百歳万歳」と冠が付けられた高齢者施策が打ち出されました。

高齢者福祉に次いで子育て支援!

福祉村構想が一段落した平成17年、合計特殊出生率が東京都の平均を下回る0・88となり、少子化が深刻な課題として顕在化。「子育ての負担が過大となり、親が育児に二の足を踏む現実を解消し、国などが本格的な少子化対策を実現する端緒となることを願い」、ただちに「次世代育成プログラム」を掲げ、少子化対策を推進。

のちに2つの施策を追加し、平成28年には、合計特殊出生率1・82と国、都の平均を大きく上回りました。このような取り組みのもと、年少人口は約11700人から2400人へと増加し、確かな成果をあげています。

予算の4割が民生費

このような施策を進める基盤として、三多摩廃棄物処分受け入れ、工業団地誘致、イオンモールの進出など、経済的、財政的に大きな構造変化がありました。

この10年、歳出の約4

割を民生費が占め、独自の高齢者福祉、子育て支援費が5%前後を占めています。現在は社会的なニーズなどが変化し、「福祉単独施策の見直し」を進めています。

私は、果敢な挑戦と機敏な対応、継続と変化の、決断の連続だったと感じました。少子高齢化の課題に取り組む新島村にとっても、示唆に富む視察でありました。



▲日の出町役場にて日の出町議会と意見交換会。挨拶されているのは日の出町議会の東 享議長

都庁でDXについての勉強会

富田 浩章

10月17日午前10時、DXについて学ぶため都庁デジタルサービス局戦略部を訪問。私たちは「にわか知識で物事を語るのではなく、謙虚に【一から学ぶ】」という姿勢で勉強会に臨みました。

そもそもDX（デジタル・トランスフォーメーション）の意味は何でしょうか？ 辞書的に言えば、トランスフォーメーションとは、英語で「変化・変形・変容」を表します。つまり、「デジタル化により社会や生活の形・スタイルが変わること」です。

自治体に例えれば、「人材不足を補い、経費の削減や業務効率化を図り、住民の利便性、サービスのさらなる向上に繋げて

いく」と置き換えることができるのではないのでしょうか。

東京都は、2019年にヤフー元社長の宮坂学副知事が就任されてから、加速的にDX化が進みました。

いくつか事例をご紹介します。

「レス化推進プロジェクト」

- ① ペーパーレス／2022年時点のコピー用紙調達量は2016年と比較して70%削減
- ② FAXレス／99%削減
- ③ はんこレス／電子決定率は99.5%
- ④ キャッシュレス／都民利用施設の78施設が導入完了

他にもさまざまな事業を現在進行形で展開していますが、紙面の都合上、全てを載せることはできませんのでリンクを張っておきます。

現在、議会が率先してDX化を行っていますが、村は東京都など関係機関と相談・支援を受けながら事業展開を行っていきます。

終わりにりましたが、アドバイスをしていただいた宮坂副知事をはじめ、久賀谷戦略課長・職員の皆様、貴重なお時間をいただき誠にありがとうございました。



東京都デジタル局

<https://www.digitalservice.metro.tokyo.lg.jp/>

QRコードを読み込むとサイトを見ることができます。



▲未来型オフィス

フリーアドレススペースを各局に設置。書類を持ち歩かない新たなワークスタイルが定着している。

全国漁場漁港大会

吉見 一之

10月18日に東京国際フォーラムにて開催された、全国漁港漁場大会に新島村議会議員一同で出席しました。本大会は全国の水産情勢や新しい取り組み等を発表し、今後の全国規模の指針を図り、国政に訴えることを目的として毎年開催されています。

近年のコロナ禍により数年ぶりとなった開催ですが、全国大会だけあって巨大な会場には名だたる国会議員や都道府県知事、市区町村長、水産関係者、港湾建設系大手ゼネコン等、数千人が一堂に会する集会で、壮大の一言でした。

なかでも近年の海水温の上昇は全国規模の現象

であること、各地域でも対応に苦心していること等が非常に印象的でした。当然我々が発言するような機会はありませんが、多くの関係者とお会いでき、名刺交換や意見交換ができたことで有意義な人脈を築くことができたと思います。情報収集の機会が広がったことにより、今後とも新島の水産情勢、港湾情勢等に貢献できるよう努力します。



▲有楽町東京国際フォーラムで行われた漁場漁港大会

鳥取砂丘メモ 木村 諭史

東京都町村議長会主催の鳥取県琴浦町議会訪問で、鳥取砂丘に立ち寄った際の気づきをまとめます。

丘の開発と保護の説明パネルがありました。

周辺地域は、砂丘の広がりを抑える植林エリア、砂質を活かした農業エリア、生活エリアと3層に分かれていたり、また砂丘中央の窪地の水場をオアシスに見立て、生態系の保護も行っていたりするなど、多様な視点でのエリア分けが印象的でした。

入口から裸足で徒歩15分ほどで奥の砂丘の頂点に立てましたが、砂丘エリアには余計な人工物もゴミも目に入らず、コンパクトでありながらスケール感がある景観でした。

砂丘麓のビクターセンターには、風によって作られる風紋や安息角（砂の傾斜角度）の実演装置、鳴き砂はじめ全国の砂の展示、砂

西風や飛砂の強さは当村でも同じですが、活用・共存していく姿勢こそが地域の底力であると実感できました。



▲砂丘のオアシスの看板。地域の生活空間、砂丘、オアシスと、目的によって入れ子構造で保全されている。